

2018年度

T 日本史問題

注意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべてHBの黒鉛筆またはHBの黒のシャープペンシルで記入することになっています。HBの黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は16ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はⅠ・Ⅱとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のようにHBの黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

(3と解答する場合)

I . 次の文を読み、下記の設問 A・B に答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

「日本は一つではない」。歴史家網野善彦はこう主張した。現在の北海道¹⁾が日本の中央権力の影響下に入るのは江戸期であるし、現在の沖縄県²⁾には明治初期まで独立国家が存在した。日本列島は東西・南北それぞれ約3000キロメートルという、弓状に長い形状をもつ。日本人はしばしば日本を「小国」と考えがちであるが、アメリカ合衆国の本土の南北の長さが約2600キロメートルであることを考えれば、日本は案外「広い」ことが分かる。

「日本は一つではない」というとき、「東と西」つまり関東と関西の違いが目につく。だが、古くから東海道で結ばれた関東と関西はともに本州の中心部で、その間の距離も約400～500キロメートル³⁾に過ぎない。「東と西」以外にも、独自の歴史と文化をもつ地域があることに目を向ける必要がある。試みに、前近代の九州を詳しくみていこう。朝鮮半島に近く、東シナ海に面した九州は、単なる「玄関」にとどまらない動きを歴史上しばしば示していた。

佐賀県唐津市の（イ）遺跡などから判明したように、縄文時代の終わり頃、九州北部で水田による米作りが始まっていた。弥生時代には九州北部に小国が分立し、紀元57年には後漢の皇帝に使者を派遣した「王」がいたことも知られる。だが、列島社会における政治的中心となるのは、近畿地方だった。邪馬台国の所在地については、近畿説と九州説があるが、4世紀の中頃までには、近畿地方⁴⁾を中心とする列島規模の政治連合（ヤマト政権）が成立する。一方、各地には有力勢力も存続していた。6世紀前半には、北部九州で筑紫君磐井が大規模な戦乱を起こしているが、これは新羅と結んでいたらしい。これ⁵⁾に対して、現在の宮崎県の辺りでは巨大な古墳⁶⁾が造営され、ヤマト政権との結びつきが深かったとみられている。⁷⁾

大宝律令によってひとまずの完成をみた律令国家は、九州南部の隼人と呼ばれた人々⁸⁾も支配下に組み込み、南西諸島の島々（種子島・屋久島）を服属させた。特に九州（西海道）の統治を重視して、大宰府という広域行政機関を設置した。だが、大宰府に左遷されていた藤原広嗣が、ここで挙兵して反乱を起こし、敗北すると海上に逃走しようとしたように、中央⁹⁾からみれば、反逆と外との結びつきが生じる可能性のある地域だった。

一般的に「武士の成立」といえば、平将門の乱に始まる東国の歴史を中心に語られがちである。しかし、九州においても、1019年に大宰権帥だった（ロ）の指揮のもとで刀伊の入寇を撃退した府官たちとその子孫が、武士団を形成していた。その後、鎌倉幕府¹⁰⁾の成立とともに、御家人が地頭として外から入ってくると、九州在来の武士団の多くは圧倒されていく。なお、平安末期には東北地方に奥州藤原氏の勢力が繁栄していたが、頼朝に

よって滅ぼされると、東北各地は東国武士の支配を受ける。東国武士の成長とともに語られる鎌倉幕府の成立は、「西」に対する「東」の自立だったが、「東と西」以外の諸地域にとっては、新たな征服者の登場という一面をもったことを忘れてはならない。

だが、九州は海外と結びつくことで、特色を強めていく。国家間の使節¹¹⁾の往還が途絶えた後、中国人商人が頻繁に来航して交易をおこなうようになると、博多は交易の一大拠点に成長し、博多以外にも「唐坊」と呼ばれる中国系商人の居留地が形成された。

また、大陸との関係からいえば、モンゴルの襲来は九州地方に大きな影響を及ぼした。弘安の役後も、鎌倉幕府は九州・西国の御家人に（ハ）を引きつづき課すことで、博多湾岸や長門を防備するなど、元の再来襲に備えるとともに、鎮西探題を設置して、探題や守護に大幅に権限を与えた。このことが幕府の支配の強化につながった反面、幕府の滅亡後は鎌倉期の守護家が大名権力へと成長していく契機ともなった。

南北朝の動乱の中で、日本列島内が混乱すると、九州沿岸部は倭寇と呼ばれる海賊勢力¹²⁾の根拠地となった。大宰府を制圧した南朝方の（ニ）が、倭寇の取締りを求める明から「日本国王」の冊封をうけたように、この地域は大陸と独自に結びつく動きがあった。少し後になると、¹³⁾沖繩本島に琉球王国が成立し、多くの中国系住人が移り住んでいたことにも留意しておきたい。

倭寇の被害は朝鮮半島にも及んでいた。朝鮮王朝は倭寇取締りを求めて、室町幕府だけに頼るのではなく、九州の守護や対馬・¹⁴⁾壹岐・松浦地方の武士たちにも通交を認めた。通交の利権目的とはいえ、幕府を介さず、朝鮮王朝から官職を与えられて通交する地元勢力が増えたことは、この時期の大きな特徴である。

一方、倭寇のネットワークを利用して、西洋人はまず九州に到着した。鉄砲を伝えたポルトガル人は、倭寇の頭目であった（ホ）の船に乗って種子島に着いたものとみられる。日本にキリスト教を伝えた宣教師もまた、中国系商人の船で鹿児島に到着した。宣教師たちは、北部九州を中心に、大名を含む多数の信者を得た。キリシタン大名たちは1582年に天正遣欧使節をローマに派遣するほか、土地をイエズス会に寄進するなどの動きを示し、¹⁵⁾新たな統一政権に危機感を与えた。

九州と海外との結びつきは、統一政権の誕生によって断たれていく。1635年に、江戸幕府は日本人の海外渡航を禁止するとともに、九州各地に寄港していた中国船を長崎一港に限定し、1689年には長崎の街に雑居していた中国人の居住地を限定するために（ヘ）を設けた。また、1641年にはオランダ商館が長崎に移されている。

だが、江戸期においても、¹⁶⁾九州と海外との関係は続いていた。長崎に近い地の利もあって、「蘭癖」大名と呼ばれる蘭学やオランダ式の文化を愛好する大名が多く生まれている。

一方、琉球王国を通じて薩摩藩が中国と密貿易をおこない、幕末には雄藩として台頭した。こうした動き¹⁸⁾を背景にして、薩摩藩が中心となって明治維新が始まる。

A. 文中の空所(イ)～(へ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部 1)～18)にそれぞれ対応する次の問 1～18)に答えよ。

1. この地域に関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. 7世紀頃から、雑穀栽培を伴う擦文文化や、漁労や海獣の狩猟などを中心とするオホーツク文化が広がっていった
 - b. 14世紀頃、津軽の十三湊を拠点とする蠣崎氏によって、本州との交流が活発になり、道南十二館とよばれる居住地が成立した
 - c. 17世紀に、コシャマインを中心にした大規模な蜂起が鎮圧されると、全面的に松前藩の支配下におかれることになった
 - d. 17～19世紀、ここから出荷されたふかのひれ、いりこ、干しアワビといった俵物が長崎貿易でオランダに輸出された
2. この地域に関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. グスク時代には、各地のグスク（城）を根拠地として、按司と称する首長が支配を進めた
 - b. 佐藤・ケネディ会談の結果、非核三原則にもとづく日本への返還が実現したが、核兵器の持ち込みを容認する密約が結ばれていた
 - c. 新石器時代の遺跡から港川人の人骨が見つかっており、その頭蓋骨は古モンゴロイドに属するとされている
 - d. 1879年の琉球処分によって、琉球藩が設置された
3. 江戸時代のこの街道を描いた「東海道五十三次」や、「名所江戸百景」などで知られる作者の名をしるせ。
4. これに関連して、志賀島から出土し、この「王」が皇帝から授かったものと考えられている金印に書かれた文字を漢字 5 字でしるせ。

5. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 大阪府において発見された纏向遺跡は、出現期の前方後円墳として最大の規模をもつことから、これとの関係が注目されている
 - b. これは、女王卑弥呼が「鬼道」によって統治する国だったが、実際の政務は女王の夫が担っていた
 - c. これは、諸国に役人を派遣していたが、北部九州の伊都国に一大率という役人を派遣していた
 - d. 人々の間にまだ身分の差が生まれておらず、市も開かれて、自由な交易がおこなわれていた
6. この人物の墓とされ、石人や石馬で知られる福岡県八女市の古墳の名称をしるせ。
7. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 3 世紀後半頃、岡山市の造山古墳のように、岡山県・群馬県など各地域で巨大な前方後円墳が出現した
 - b. 遅くとも 4 世紀中頃までには東北地方中部に及んでいたが、東日本では、出現期には前方後方墳が多いという特徴があった
 - c. 5 世紀になると、ヤマト政権の巨大古墳は河内平野から奈良盆地に移っており、いわゆる倭の五王の時代の大王の墓であると考えられている
 - d. 6 世紀頃、群集墳と呼ばれる小型古墳が増加したが、前方後円墳をつくっていた有力豪族がヤマト政権に服属するなかで造営したものと考えられている

8. これらの人々のものとして知られる平城京の出土遺物の画像として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。

a.



b.



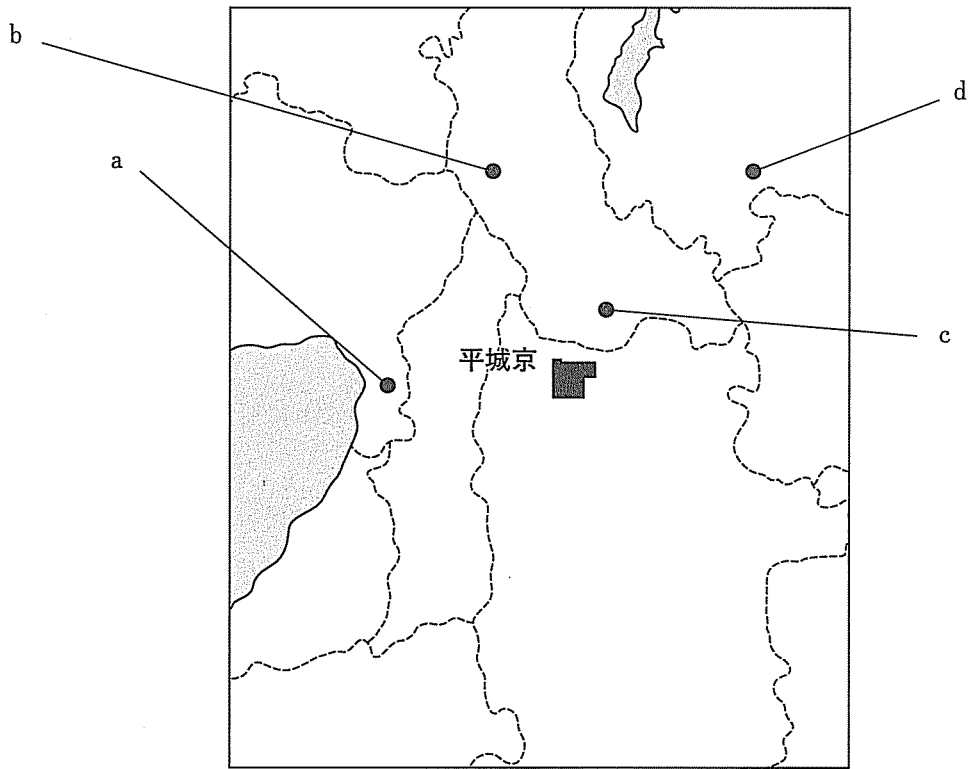
c.



d.



9. この人物の反乱に衝撃をうけた当時の天皇は、伊勢・美濃に行幸し、その平定の後も、遷都を繰り返すが、最初に遷都した恭仁京の位置として正しいのはどれか。次の地図中の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。



10. これが成立した争乱期に関する次の出来事 a～dのうち、もっとも古いものを解答欄の i に、次に古いものを ii に、以下同じように iv まで年代順にマークせよ。
- a. 木曾義仲が北陸道を進んで、京都に進駐した
 - b. 源義経が、壇の浦の戦いで平氏を滅ぼした
 - c. 源頼朝が、守護・地頭の設置を後白河法皇に認められた
 - d. 源頼朝が、寿永二年十月宣旨によって、東国の支配権を認められた
11. これに伴って中国に渡った人物として正しくないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 空海
 - b. 玄昉
 - c. 裔然
 - d. 旻

12. この時代の文化に関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 公家社会の側から描いた『増鏡』、武家の立場から記した『梅松論』のような、様々な立場からの歴史書が書かれた
 - b. 茶寄合も各地でおこなわれ、人々が集まって侘茶や生け花を楽しむことが流行した
 - c. 内乱の全体像を描いた軍記物語『太平記』が生まれ、のちに琵琶法師と呼ばれる講釈師によって広く流布された
 - d. 人々が集まっておこなう連歌が流行し、宗祇が『菟玖波集』を編んだ
13. この君主号に関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 足利義満は貿易による利益を求めて、明よりこれに冊封されたが、足利義教は朝貢という形式を嫌って明と断交した
 - b. 徳川将軍はこれを名乗らなかったため、日清関係において国書の改竄^{ざん}事件が発生し、それ以降「大君」を国際的称号とするようになった
 - c. 日露戦争後、清から「独立」した朝鮮は、国号を改め、君主号もこれから皇帝に改めた
 - d. 文禄の役後の講和交渉において、明は豊臣秀吉をこれに冊封するという回答を示したが、講和交渉は決裂した
14. この国からの主要な輸入品として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 硫黄
 - b. 刀剣
 - c. 銅銭
 - d. 木綿
15. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. これと同様に、ローマ教皇に使節を派遣した例としては、17世紀初めに伊達政宗が支倉常長を派遣した例がある
 - b. これに派遣されたのは、原マルチノ・千々石ミゲル・中浦ジュリアン・伊東マンショの 4 少年であったが、伴天連追放令のために 4 名とも帰国できなかった
 - c. これを派遣した大名は大友義鎮・大内義隆・有馬晴信の 3 大名である
 - d. これを派遣するよう勧めたのは、イエズス会宣教師フランシスコ＝ザビエルであった

16. これは、1602年にオランダで設立されたある組織の設けた商館である。その組織の名称をしるせ。
17. これの基礎をつくった人物で、野呂元丈とともに、徳川吉宗の命令によってオランダ語を学んだ人物の名をしるせ。
18. 江戸期におけるこの国と薩摩藩および中国との政治的な関係について、40字以内で説明せよ。ただし、「この国は、」という書き出しで始め、その書き出しも字数に含めよ。

Ⅱ. 次の文1～5を読み、下記の設問A・Bに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

1. 今日、日本の伝統文化とみなされる芸能や娯楽は、権力者による庇護・支援によって発展したものも多い。しかし、名もなき庶民の文化が影響することもある。たとえば、民間の流行歌謡である（イ）を知った後白河法皇が、これをまとめて『梁塵秘抄』の編纂をしたのはその一例である。

また、農村での労働歌舞を中心とした（ロ）や滑稽劇である猿楽は、庶民に愛好されていたものだが、やがて貴族層も享受するようになる。それが能に結実するのである。室町時代には寺社の保護を受けて能を演じる専門家集団としての座が登場し、興行が盛んにおこなわれるようになった。とりわけ評判が高かったのが大和猿楽四座である。そして、能の大成には、足利義満による庇護が深く関わっている。¹⁾彼の保護を受けて観阿弥・世阿弥父子は能を²⁾芸術として完成させ、世阿弥は能の理論書『（ハ）』も著した。

2. 新興勢力の影響力も無視することはできない。文学においては、武士の台頭によって武士の戦いぶりを描く軍記物語が生まれた。そして、貴族たちの間には、戦乱による地位低下と喪失感から、³⁾懐古的で伝統を重んじる風潮が生まれる。それゆえ朝廷の儀式・先例を研究する（ニ）の学が盛んになったのである。また、武士たち自身も文化の担い手となっていき、金沢文庫を設けるなど学問を重んじる北条実時のような武士も現れた。一方、新興勢力の武士たちの中には、新しもの好きで華美を好む者たちもおり、彼らの派手ぶりは（ホ）と呼ばれた。この（ホ）大名としては、佐々木導誉が有名である。

3. 庶民の嗜好が、芸能の繁栄につながることもある。室町時代に民衆に好まれた芸能として、曲舞の流派である（ヘ）舞や、その他に古浄瑠璃・小歌があった。このうち小歌の歌集として編集されたのが『（ト）』である。

歌舞伎もまた庶民の娯楽であった。阿国歌舞伎に端を発する女歌舞伎は幕府によって禁じられ、代わって美少年が演じる（チ）歌舞伎が流行する。しかし、これも禁止されたため、17世紀半ばから、歌舞伎は成人男性だけが演じるものとなった。しかし、歌舞伎の人気は衰えず、勇壮で荒々しい演技で魅せる荒事と、恋愛を優美に演ずる和事のそれぞれに名優が現れた。歌舞伎・浄瑠璃の脚本家であった近松門左衛門の作品には、心中など当時の世相を描いた世話物と、歴史的な事象を扱った時代物がある。また、歌舞⁴⁾

伎・浄瑠璃の上演は、三味線伴奏での語りを伴うものであったが、この語りが、やがて単独の音曲芸能（リ）として人気を博した。竹本座を創設した人物が、（リ）を完成させた。

明治期になると、文明開化風俗を取り入れた新作歌舞伎を河竹黙阿弥が発表し、明治中期には名優が活躍する⁵⁾団菊左時代を迎える。一方、新しい演劇として、時事や自由民権思想を盛り込んだ川上音二郎らの（ヌ）芝居が現れる。これが新派劇に発展したとも言われ、日露戦争後には、西洋の近代劇を翻訳・上演する⁶⁾新劇も登場する。⁷⁾

4. 統治者は文化を振興するだけでなく、介入・規制することもある。生類憐みの令で知られる徳川綱吉は、近親者の死に際しての規定である（ル）を出した。また、綱吉は、忠孝倫理と礼儀の尊重を武家に課すとともに、かぶき者など素行不良者の取締りもおこなった。徳川幕府は何度となく芸能や衣食住に対する規制をおこなったが、天保の改革においても各種の統制がおこなわれた。⁸⁾

明治期になっても、讒謗律・新聞紙条例などによって、自由民権運動に対する厳しい取締りがおこなわれた。そして、大正デモクラシーの気運を受けて1925年に普通選挙法が成立したが、同時に治安維持法も成立した。これは思想・信条に対する統制であり、当初の目的は社会主義・共産主義思想の取締りであったが、やがて様々な思想・言論に対する弾圧へとつながっていく。

1930年代には、軍人や右翼によるクーデタや暗殺が繰り返された。そして、日中戦争が始まると⁹⁾言論・思想統制が一層強化されていく。労働者の立場に根ざしたプロレタリア文学は¹⁰⁾衰退する一方、従軍体験に基づく『麦と兵隊』を著した火野葦平は¹¹⁾人気作家となった。しかし、同じく芥川賞作家である（ヲ）の書いた『生きてゐる兵隊』は、軍隊生活の暗部までもリアルに描写したために発売禁止となっている。敗戦によって連合国軍の占領下におかれた際も、多くの市民的自由が国民に付与される一方で、GHQ/SCAPによって発令された（ワ）によって、新聞は事前検閲を受けるなど、占領軍に対する批判などは封じられたのである。

5. 日本の民主化・非軍事化を推進した占領政策は、1947年以降米ソ対立が鮮明となる中、1948年以後に大きく転換する。日本を反共の防波堤・西側陣営の一員とすべく経済復興が図られ、朝鮮戦争を契機に警察予備隊が発足する。それは当初の占領政策に逆行するものであった。そしてサンフランシスコ講和条約発効によって日本が独立を回復した後も、こうした路線は日本政府に引き継がれていく。民主主義の基盤である思想・信条の自由¹²⁾

や言論・表現の自由を脅かすと批判されるような動きが，戦後においても生じたのである。

A. 文中の空所(イ)～(フ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部 1)～12)にそれぞれ対応する次の問 1)～12)に答えよ。

1. これにあてはまらない座はどれか。次の a～d から 1 つ選び，その記号をマークせよ。
a. 金剛座 b. 金春座 c. 下坂座 d. 宝生座
2. この人物に関する記述として正しくないものはどれか。次の a～d から 1 つ選び，その記号をマークせよ。
a. 彼の説得に応じて南朝の後龜山天皇が入京し，南北朝の合体が実現した
b. それまで朝廷が保持していた京都の市政権を幕府の管轄下においた
c. 太政大臣にまでのぼりつめ，出家した後は政治から身を引き北山殿で暮らした
d. 山名氏一族の内紛に介入して，山名氏清らを滅ぼした
3. これに関する記述として正しいものはどれか。次の a～d から 1 つ選び，その記号をマークせよ。
a. 『吾妻鏡』は，保元の乱を源義朝の活躍を中心に描いたものである
b. 『源平盛衰記』は，『平家物語』と同様，平家の興亡を描いたものである
c. 『国性爺合戦』は，源平の争いを源氏側の視点から描いたものである
d. 『陸奥話記』は，後三年合戦における藤原清衡を描いたものである
4. 近松門左衛門のこれに関する記述として正しいものはどれか。次の a～d から 1 つ選び，その記号をマークせよ。
a. 『菅原伝授手習鑑』で，菅原道真の左遷にいたる経緯を描いた
b. 『椿説弓張月』という，源為朝が琉球に漂着して活躍する物語を書いた
c. 『南総里見八犬伝』という，主家再興をめぐる伝奇物語を書いた
d. 『冥途の飛脚』で，遊女との恋の果てに身を滅ぼす人生を描いた
5. この風潮が盛んになった時期に関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び，その記号をマークせよ。
a. 違式註違条例によって男女の混浴や入墨が禁止された
b. お歯黒や盆踊りが禁止された
c. 中村正直訳『西国立志編』がベストセラーになった
d. 福澤諭吉がルソーの『社会契約論』を抄訳・紹介した

6. この人物の著作に関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 怪談物の確立となった『東海道四谷怪談』がある
 - b. 生世話物に笑いを取り入れた『春色梅児誉美』がある
 - c. 時代物として人気を博した『仮名手本忠臣蔵』がある
 - d. 白浪物の『青砥稿花紅彩画』がある
7. これの上演に関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. シェークスピアやイプセンの作品が上演された
 - b. 坪内逍遙と島村抱月が文芸協会を設立した
 - c. 徳田秋声の人気小説『あらくれ』が上演された
 - d. 二代目市川左団次が小山内薫と自由劇場を結成した
8. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 関東取締出役を設けて犯罪者の取締りに当たさせた
 - b. 出版統制令によって『海国兵談』の著者林子平を弾圧した
 - c. 人返しの法により、江戸に流入した貧民の帰郷を強制した
 - d. 寄場組合を設けて風俗の取締りに当たさせた
9. これに関する次の出来事 a～d のうち、もっとも古いものを解答欄の i に、次に古いものを ii に、以下同じように iv まで年代順にマークせよ。
- a. 軍部内の統制派の中心人物である永田鉄山が、皇道派の相沢三郎中佐に斬殺された
 - b. 青年将校を中心とするクーデタで蔵相高橋是清、内大臣斎藤実らが殺害され、戒厳令が公布された
 - c. 前蔵相井上準之助と三井合名会社理事長団琢磨が暗殺される血盟団事件が起こった
 - d. ロンドン海軍軍縮条約に対して統帥権干犯が叫ばれ、浜口雄幸首相が右翼青年に狙撃された

10. 日米開戦以後のこれに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 京都帝国大学教授滝川幸辰は、その自由主義的刑法学説を共産主義的であると批判されて、休職を経て免職になった
 - b. 作家や雑誌記者らが共産党再建を謀議したとして検挙され、4 名が獄死し雑誌が廃刊に追いこまれる横浜事件が起こった
 - c. 人民戦線の結成を企図したとして日本無産党や労農派グループのメンバーが逮捕され、東京帝国大学教授大内兵衛も検挙された
 - d. 日本の植民地政策に批判的であった東京帝国大学教授矢内原忠雄が、執筆した論文や講演を非難されて辞職に追いこまれた
11. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 小林多喜二は『太陽のない街』において、貧しい都市労働者の惨状を描いた
 - b. 徳永直は『日本之下層社会』において、貧しい人々の生活実態を描いた
 - c. 葉山嘉樹は『海に生きる人々』において、貨物船員の苦難と闘争を描いた
 - d. 横光利一は『機械』において、工場の労働条件の過酷さを描いた
12. これに関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 教員への管理を強化する勤務評定が、教職員組合の強い反対を押しきって実施された
 - b. 警察の権限強化のために、世論の強い反対を押しきって、警察官職務執行法が改正された
 - c. 皇居前広場事件を契機として、破壊活動防止法が制定されたが、その調査機関として公安調査庁が設置された
 - d. 戦争責任者の公職追放が解除される一方で、共産党員が職場から追放されるレッド・パーージが官公庁、民間企業、学校へと拡大した

【以下余白】

